

第73回 東京都中学校地域別（多摩東部・西部）陸上競技大会

競技注意事項

1 競技規則について

本競技会は2022年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本競技会要項及び競技注意事項(本注意事項)により実施する。

2 競技者の事前準備

本競技会に参加する競技者は、以下の準備をしておくこと。事前に大会ガイドラインとなる「大会参加にあたって」を確認し、下記の準備をしておくこと。

(1) 「体調管理チェックシート」の準備

東京中体連陸上競技専門部HPから「体調管理チェックシート」をダウンロードし、競技会出場当日を含む8日間の検温結果を必ず記入すること。(2日続けて参加する選手・引率者・競技役員は体調管理チェックシートを毎日提出すること。2日目は当日のみの記入でよい。)

(2) 「保護者同意書」の準備

東京中体連陸上競技専門部HPから「保護者同意書」をダウンロードし、事前に保護者に記入してもらうこと。同意書については、2日間の競技者分を引率者がまとめてTICに提出してもらうことになるので、前日までに学校で集めておくこと。

(3) 「当日の持参物」の準備

競技に必要な物の他、マスク、個人用シート、タオル、ごみ袋、筆記用具、ADカード入れ首掛けホルダー、筆記用具、東京都中体連陸上競技専門部HPに掲載されるスタートリストを見て、自分の競技時間、競技順序、招集時間等を確認しておくこと。

3 競技場の入場及び競技者受付について

(1) 競技者は来場したら、引率者から競技者に発行されている当日分のADカードを受け取り、それを所持してTICで検温を行い、確認済みシールを受け取り、当日分のADカードに貼り付けること。

(2) 競技場への入場に際し、競技役員の指示に従い行動すること。

(3) 競技場の開門時刻は、全日程とも8時15分とする。

(4) 競技者の入退場は以下の通りとする。

入退場口は100mスタート側のスタンド下ゲート。TICで検温チェックを受けて発行された、確認済みシールを貼ったADカードを掲示すること。

(5) 引率者・指導者の入退場は以下の通りとする。

選手・指導者の入退場口はスタンド外側のE階段です。引率者保護者の入退場口はG階段です。

入場時にADカードを掲示すること。入場は引率選手の競技開始10分前を目安とし、終了後は速やかに退場すること。声を出しての応援は禁止とする。指導者が選手のウォーミングアップ時に芝生スタンドから指示することを認めるが、グラウンドレベルには下りないこと。

※開門前に来場した競技者及びその指導者・引率者は、3つの密(密閉、密集、密接)を避け、ソーシャルディスタンスを保って開場を待つこと。

(6) 競技者は入場の際に、手指消毒を行い検温を受けること。

(7) 競技2時間前の来場を徹底し、学校単位で朝から集合して来場はしない。(出場しない生徒は来場させないこと)

(8) 競技者及び来場者に関して

① 以下の事項に該当する場合は、来場を見合わせること。

・体調がよくない場合(例. 発熱(37.0℃以上は再検)、咳、咽頭痛などの症状がある場合)。

② 以下の事項に該当する場合は、来場及び参加を認めない。

・当日の体温が37.5℃以上あり、強い倦怠感と息苦しさがある場合。

・同居家族や身近な知人が感染している、または感染が疑われる状態にある場合。

・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合。

③ 競技会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対し濃厚接触者の有無等について報告すること。

(9) 来場及び競技の参加にあたって

- ① 参加者は競技のウォーミングアップ開始に合わせて来場し、競技終了後速やかに帰宅すること。
 - ② 来場にあたっては、マスク・マイタオルを持参し、運動時を除いては原則としてマスクを着用すること。
 - ③ 石けんを用いた手洗い・手指消毒、うがい、洗顔を励行する。
 - ④ 声を出しての応援、集団での応援は行わない。
 - ⑤ ウォーミングアップ・招集等については、競技役員の指示に従い、ソーシャルディスタンスを確保すること。
 - ⑥ 競技用具使用後は手洗いまたは手指消毒を行うこと。
 - ⑦ 飲食等の際は感染リスクが高くなるため、短時間・ソーシャルディスタンス・換気の良い場所で行うこと。なお、スタンドでの食事は禁止とする。(水分補給、飲料の摂取は可)
 - ⑧ 飛沫拡散を防ぐため、応援や大声・近距離での会話を避けること。
 - ⑨ タオル、ペットボトル、コップ、皿、袋等の共用を控え、個人用を用意すること。また、ゴミは各自で持ち帰ること。
 - ⑩ トイレは、100mスタート側大トイレを外向き、フィニッシュ側大トイレを内向きで開放します。
- (10) 競技は無観客で行う。ADカードを発行された関係者は入場できるが、引率者は競技者が練習・競技を行うときのみ、スタンドの指定された場所で観戦することができる。
- (11) 自分の競技が終了したら速やかに帰宅をさせてください。
- (12) 感染予防のためスタンドの場所取りは禁止とする。
- (13) 競技者はスタート地点または競技場所へ移動する際は、必ずマスクを着用すること。
- (14) 引率者はTIC(メインスタンド外側、駐輪場付近に設置)にて、引率者本人の「体調管理チェックシート」と事前に記入した2日間に出場する競技者の「保護者同意書」を提出し、競技者分のADカードとプログラムを受け取ること。
- (15) プログラムに記載ミス(氏名、学年、所属等)があった場合には、競技開始の1時間30分前までにTICへ申し出ること。なお、プログラムの記載事項は、申し込みの際に送信されたデータをそのまま使用している。
- (16) 大会プログラムは残部がある場合に限り、TICにて販売する。
- (17) 複数日にわたり本競技会に出場する競技者は、出場する日ごとに、「体調管理チェックシート」を作成するが、2日目は当日分の記入でよい。

4 アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは、事前に発表されたスタートリストを確認し、各自で企画通りに作成すること。
 - (2) 胸と腰に確実に固定すること。(跳躍競技については、胸または背部のどちらか一方でよい。)
 - (3)トラック競技に出場する競技者は、スタートリストを確認して腰ナンバー標識(1枚)を各自で企画通りに作成し、右腰やや後方につけること。(リレー競技は、アンカーのみつける)
- ※アスリートビブス・腰ナンバー標識の企画は、令和4年度大会日程要項を参照。

5 ウォームアップおよび練習について

- (1) 練習は競技場内で行うことができる。競技役員(マーシャル・練習場係など)の指示に従い、指定された場所・時間の範囲内で行うこと。ただし、競技運営上、練習を制限することがある。練習中は各々が事故防止に万全を期すこと。
- (2) 競技場内(競技区域内)に入場できるのは、本競技会に参加する競技者のみとし、練習の際についても指導者・引率者等の立ち入りは認めない。
- (3) 競技区域内での練習は、本競技会に参加する競技者に限定する。(競技区域内で練習する際は、競技者用ADカードを身につけること)
- (4) 練習を競技区域内で行う際の競技場への出入りは、100mスタート側の「選手出入口」のみとする。
- (5) 周回レースが行われていない時間帯については、バックストレートを開放する。(但し、長距離種目実施中にはついては、使用制限がある。)
- (6) ハードルの設置については、以下のとおりとする。

1日目	共通男子110mH	12:20~14:15	バックストレート6~8レーン
2日目	共通女子100mH	14:15~16:30	バックストレート6~8レーン

- (7) 走幅跳の足合わせは、以下の時間にバックストレート(Cピット)に設置する。

1日目	準備完了~14:00
2日目	準備完了~14:15

- (8) フィールド競技の練習は競技役員の指示に従って、招集完了後に各々の競技場所で行う。

- (9) 練習に必要な用器具は主催者が準備する。個人で持ち込んだ用具を使用して練習場所を占有することを禁止する。

6 招集について

- (1) 競技者係は、100mスタート地点後方に設置する。
- (2) 競技者係において、競技者は必ずマスクを着用すること。
- (3) 各競技の招集開始時刻・招集完了時刻、リレーオーダー用紙の提出締切時刻は、タイムテーブルに記載のとおりとする。なお、リレーオーダー用紙は、競技者係で準備しているものを使用し、競技者係に**2枚**提出すること。
- (4) 招集の方法
 - ① 招集開始時刻に現地招集を基本として行う。現地にて競技者係の点呼を受けること。その際、アスリートビブス(旧ナンバーカード)・腰ナンバー標識・商標・靴底の厚さのチェックを行う。
 - ② リレーはユニフォームチェックを4人そろって競技者係で行うため、招集場所を競技者係とする。
 - ③ ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内に持ち込むことはできない。
 - ④ 招集完了時刻を超えた場合は、当該種目を棄権したものとして処理する。
 - ⑤ トラック競技とフィールド競技の2種目にエントリーしている場合には、意思確認時に競技者係に申し出ること。※トラック競技が優先
- (5) 欠場について
本競技会を欠場する際は、本人または引率者・顧問を通じて、競技開始時刻の60分前までに競技者係へ申し出ること。

7 競技及び競技方法について

(1) トラック競技

- ① この大会は記録会方式とする。(予選・決勝は行わない。)
- ② トラック競技の計時はすべて写真判定装置を使用する。
- ③ レーン順はプログラム記載順どおりとする。空いたレーンがあってもつめないで行う。
- ④ 不正スタートをした競技者は失格とする。

【都中体連申合せ事項】

 1. 不適切行為(速やかに構えない、「セット」で静止しない、ピクつく等)をした競技者へは出発係が口頭にて注意を与える。(グリーンカードを掲示する)
同一の競技者が同一レースで不適切行為を繰り返した場合は、スタート審判長がイエローカードを提示し警告を与える。
・イエローカードは当該種目内での累積とする
 2. 競技会の中で2度の警告が与えられた場合は、レッドカードを提示され競技会から除外される ※競技会を通しての累積である
 3. リレー競技において除外処分を受けた場合、当該競技は失格となるが、個人種目への出場は妨げられない。
・混成競技を除き、不正スタートをした競技者は失格とする
〈不正スタートとは、号砲前に「手が地面から離れる」「足がスタブロから離れる」ことだけでなく、「スタート動作を起こしていれば」不正スタートになる〉
※混成競技においては、1回目の不正スタートをした競技者に黄黒カードが提示された後、他の競技者全員にも黄黒カードが提示される。以降、不正スタートをした競技者には赤黒カードが提示され失格となる。
※1年生も同様の対応とする。
☆顧問の先生へお願い☆
スタートのやり直しは、競技の進行にとって大きな妨げとなるだけでなく、他の競技者にも迷惑をかけます。レースが一回でスタートできるように、学校での練習においてスタートのタイミング等について十分ご注意ください。
- ⑤ 短距離走・ハードル走・リレーにおいて、スターティングブロックの使用を義務づける。
- ⑥ 短距離走では、競技者の安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン(曲走路)を走る。(ほかの競技者との接触を避けるため)
- ⑦ 800m、1500m競走はオープンスタートとする。3000m競走はグループスタートとする。
- ⑧ 1500m競走では4分45秒、3000m競走では10分30秒を過ぎた競技者は、次の周回を走ることはできない。
- ⑨ トラック競技とフィールド競技に同時に出場する競技者は、トラック競技を優先するので、必ずフィールド競技の審判員に申し出て、トラック競技終了後ただちにフィールド競技に戻ること。また、招集所で2種目に出場することを必ず申し出ること。(ラウンド内に戻らないとパス扱いとする)

- ⑩ リレーメンバーは、申込一覧表に申込んだ6名以内とする。(都中体連ルール)
- ⑪ リレーで使用するマーカーは各校(学校名を記入)で用意し、レース終了後必ずはがすこと。
- ⑫ 共通リレーに出場する4名は、統一された服装で競技に参加すること。
- ⑬ ハードル競技は、以下の規格で行う。

	高さ	インターバル	台数
共通男子 110mH	0.914m	13.72m-9.14m・・・14.02m	10台
共通女子 100mH	0.762m	13.00m-8.00m・・・15.00m	10台

(2) フィールド競技

- ① 跳躍種目の競技者は、助走路の外側(走高跳は助走路内)にマーカーを2個まで置くことができる。
- ② 走高跳のバーの上げ方は、以下のとおりとする。(天候等により変更することもある)

種目	練習	競技
共通男子	1m38 or 1m58	1m43 48 53 58 63 67 70 73 … 以降 3cm ずつ
共通女子	1m15 or 1m38	1m20 25 30 35 38 41 44 47 … 以降 3cm ずつ

- ③ 投てき用具は、以下の規格を用いる。
【男子】共通砲丸投 5.000kg 【女子】共通砲丸投 2.721kg
- ④ 走幅跳と砲丸投の試技は一人3回とし、すべて測定を行う。

(3) 抗議について

競技の結果または競技進行中に起きた競技者の行為に関する抗議は、競技結果が放送発表されてから30分以内に、引率顧問がTICに申し出ること。(当該校が認める部活動指導員は、証明する書類等を持参している部活動指導員に限る。)審判長が再度検証し、担当総務員を通じて裁定を伝える。

(4) 助力

- ① 競技者が競技場所を離れる場合は、競技役員に申し出なければならない。
- ② 競技中に競技場内のスタンド下ダッグアウトから助言(指導)を行うことは禁止する。メインスタンド2列目まで、芝生スタンドの区画された範囲をコーチングエリアとする。
- ③ フィールド種目に出場している競技者に対して競技区域外(スタンド)にいる競技者が録画した映像を見せることは助力にはならないが、競技区域外(スタンド)から見せることに限定され、録画した機材(スマートフォン・ビデオカメラ等)を競技区域内にいる競技者が手に持って見た場合は助力とみなす。

8 用器具について

競技に使用する用器具は、すべて競技場備え付けのものを使用する。ただし、棒高跳用ポールは、個人所有のものが使用できる。

9 競技用靴について

スパイクピンの長さは9mm以内とし、走高跳は12mm以内とする。いずれの場合もスパイクピンの数は11本以内とする。

靴底の厚さは800mm未満の種目では20mm以内、800mm以上の種目では25mm以内とする。本競技会では、フィールド種目の靴底の厚さについては除外措置を適用する。

10 表彰について

- (1) 各種目の上位記録1位～8位までの入賞者(チーム)には賞状を授与する。但し、地域変更により参加している学校は、8位入賞者と同等の記録を出した者(チーム)に別途、賞状を授与する。競技終了後、引率者がTICに取りに来ること。

11 製造会社のロゴ、ブランド名、デザインマークのついた衣類やバッグ類等について

競技場に製造会社のロゴ、ブランド名、デザインマークのついた衣類やバッグ類等を持ち込む場合、「競技会における広告および展示物に関する規定」を遵守すること。競技役員から指摘・指導された場合は、その指示に従い、必ずテープを貼って隠すこと。

12 総体・通信陸上大会への出場について

- (1) 総体・通信陸上大会への出場権は、本大会で標準記録を突破した者および各種目8位入賞者(地域

変更で参加している者は、8位入賞者と同等の記録を出した場合)に与えられる。但し、共通男女・走高跳の種目においては、標準記録を突破した者に限る。100m・200m・400m・ハードル競技の条件は別に定める。

- (2) 総体・通信陸上大会への参加標準記録突破者は一覧表を中体連HPに掲載するので、そちらを確認すること。
- (3) 100m・200m・400m・ハードル競技のみ、総体・通信陸上大会への出場権は、東西地区の8位入賞者および両地区を合わせた9位以降、上位8名以内の者(地域変更で参加している者は、これと同等の記録を出した場合)に与えられる。 ※8人目が同記録の場合は全員に資格を与える。
- (4) 総体の低学年リレーについては、東西を通して8位入賞チームと、地域変更校の東西を通して1位～8位相当にも出場権が与えられる。

1.3 競技場使用上の注意

- (1) フィールド内の芝生は使用禁止となっているので入らないこと。
- (2) 更衣室は使用禁止とする。各自更衣を済ませてくること。
- (3) 貴重品や衣類の管理は各自で行い、盗難防止に努めること。
- (4) ビン・カン類の持ち込みは禁止とし、ごみ類は必ず持ち帰ること。(競技場周辺や駅、コンビニ等に捨てないこと)
- (5) 競技場内の整備に努めること。トイレは清潔に使用すること。
- (6) 本部前は通行禁止とする。また、セーフティーコーン設置場所には絶対に入らないこと。
- (7) グランド内での飲食およびビン・カン類の持込を禁止する。(但し、跳躍選手および投てき選手においては水分補給のための水筒の持ち込みを認める。)
- (8) 競技場への往復の行動には十分注意すること。

1.4 その他

- (1) 2022年度の日本陸上競技連盟競技規則修改正点について、特に注意すること。
- (2) 競技中の事故については主催者で応急処置をするが、以後の責任は負わない。
- (3) 引率の先生方には競技役員として協力をお願いします。
- (4) 記録はその都度、アナウンスおよび記録結果携帯速報サイトに発表する。記録の貼り出しは行わない。
- (5) 記録証は、1部300円で発行する。希望者は各日ともに15時30分までにTICにて申し込むこと。
- (6) 届けられた遺失物については、大会当日のみTICで保管する。その後一時保管(P.12参照)するが、その他の盗難および紛失に関しては一切責任を負わない。5月15日～5月30日までとする。保管期間を過ぎたものは処分する。
- (7) 競技場の開門時間・主任・顧問打合せについて
1日目★開門時間 8時15分 ★主任打合せ 9時00分 ★顧問打合せ 9時20分
2日目★開門時間 8時15分 ★主任打合せ 8時30分 ★顧問打合せ 9時00分
- (8) 芝生スタンドなど(メインスタンドを含め)、学校単位・チーム単位・家族・個人等の全てにおいて競技場内の場所取りは不可とする。
- (9) 撮影は、引率者ADカードを所持している者のみとし、生徒は撮影できない。また、撮影禁止区域ではADカードの有無に関わらず撮影してはいけない。(短距離、リレー競技スタート後方、走高跳、走幅跳の正面、他役員の指示した場所)
- (10) 引率保護者の観戦はフィニッシュ側の青ベンチ区画のみとし、選手の待機区画等の往来は不可です。
- (11) 場外は、階段下スペース、競技場北側の場所取りは可ですが、地域変更校の優先区画となっています。各支部ごとに指定された待機場所があります。なお、野球場クラブハウス前の広場は場所取、アップ禁止です。

第73回東京都中学校地域別(区部)陸上競技大会の記録結果携帯速報サイトをご利用ください。

競技終了後に、次のサイトにアクセスすれば、ご覧になれます。

<http://gold.jaic.org/jaic/member/tokyo/cyuugaku/index.htm>

QRコードもご利用ください。



競技会コード 22 13 3502 競技場コード 132070